

# 自動車保険を知ろう!



おおたけ えつこ  
LPA 大竹悦子

保険会社により異なりますが、事故後の対応だけでなく、事故防止の支援サービスがついているものもあります。例えば、片寄り走行や車線逸脱を起こしたり、危険運転(急ブレーキや急発進急ハンドル)を検知した際に、端末から音声メッセージなどによりドライバーに注意喚起が行われるといったもの



お問い合わせ  
コープぎふLPAの会事務局  
TEL 058137016713  
月～金曜日 9時～17時(土日休み)



ただし、月々の保険料が積み重なれば、いつかは機器代を超えることになりま。また、取りつけも自分でしなくてはなりません。映像・音声・位置情報等の運転情報の取り扱いが気になる方も必要です。さまざまなメリット、デメリットがありますが、これからドライバーを取りつけようと考えている方は、保険の内容をよく検討してみましよう。

このように自動車保険はどんどん進化しています。毎年(あるいは2年、3年)更新の自動車保険、つい「昨年と一緒でいいか」と保険会社任せになっていませんか。公共交通機関の不便なところに住んでいると、車が手放せません。より安全に事故なくすごしたいものです。いざという時のための保険です。しっかりと内容を把握しておきましょう。

## 組合員さんの声

1人暮らしでも色々なお米が試せるよう、生協さんでも様々な銘柄のお米を2kgで扱って欲しいわ。

## 声で改善

お米少量企画の要望にお応えし、商品案内カタログ2018年10月1週から「お米2kg」の取り扱いを増やしました。



ユニセフ募金など、コープの社会貢献活動には大変感心しています。少しでも協力したいと思います。| 輪之内町 M.Wさん |

# LPA ライフプランアドバイザーの 井戸端会議

## 活用が広がるドライブレコーダー

みなさんはご自身の車に、ドライブレコーダーをつけていますか。近年、あおり運転が社会問題になりました。そのようなこともあり、一部の損害保険会社ではドライブレコーダーの活用を広がっています。

ドライブレコーダーを貸与する特約は、車に衝撃があった場合、その動画と位置情報がすぐに保険会社の損害サービスセンターに自動送信されるというものです。そして、センターとドライバーレコーダーを通じて話ができ、迅速な事故対応、必要に応じて救急車などの手配もしてくれるそうです。同時配信なので、事故映像の信憑性も高まります。

## 保険の内容を確認しよう

このように自動車保険はどんどん進化しています。毎年(あるいは2年、3年)更新の自動車保険、つい「昨年と一緒でいいか」と保険会社任せになっていませんか。公共交通機関の不便なところに住んでいると、車が手放せません。より安全に事故なくすごしたいものです。いざという時のための保険です。しっかりと内容を把握しておきましょう。

## 商品検査センターから

# 今月のテーマ 食品に含まれる放射性物質の現状



原発の事故から7年半が過ぎました。野生のきのこなどで放射性物質が検出されたというニュースは、今でもたまに報道されています。では実際に、私たちが食べている食品中の放射性物質の現状はどうなっているのでしょうか。

## 行政の公表したデータに基づく対象17県の放射性物質検査結果

2011年度				2016年度			
品目	検査点数	基準値超過点数	超過割合	品目	検査点数	基準値超過点数	超過割合
米	26,464	592	2.2%	米	約1,026万	0	0%
野菜・果物	15,403	595	3.9%	野菜・果物	12,965	0	0%
豆類	689	16	2.3%	豆類	957	0	0%
茶	2,233	192	8.6%	茶	102	0	0%
原乳	1,919	8	0.4%	原乳	1,420	0	0%
牛豚鶏肉・鶏卵	78,962	1,058	1.3%	牛豚鶏肉・鶏卵	212,040	0	0%
きのこ・山菜類	3,856	779	20.2%	きのこ・山菜類	9,241	69	0.7%
水産物	8,576	1,476	17.2%	水産物	180,166	11	0.1%
野生鳥獣肉	631	394	62.4%	野生鳥獣肉	1,711	378	22.1%

消費者庁 食品と放射能Q&Aミニ冊子第4版より

2016年度は事故の起きた2011年度より、放射性物質の基準超過は大幅に減っています。しかし今でも、基準値を超えているものがある点は気になります。不安にもなる結果ですが、品目を1つ1つ見ていくと理由がわかってきます。

## きのこ・山菜類・野生鳥獣類

きのこ・山菜類には栽培のものや野生のものがあります。基準値を超えているのは野生のもので、これは生育地の管理(除染などの対策)が困難なためです。同じく野生の鳥獣類(クマ、イノシシ、シカなど)も除染していない野山で生活しているため、放射線量は減少しにくい傾向にあります。

これらは定期的な検査がされており、今までのデータからみて基準値を超える可能性がある地域では出荷の制限や、出荷自粛で流通しなくなっています。またそもそも野生のきのこや山菜、野生鳥獣類は安定供給が難しいため、一般的に流通量は少ないと考えられます。

## 水産物

水産物では、淡水魚で基準値を超えているデータが見られます。淡水魚は除染できない川の中に生活していることと、海水魚に比べ放射性物質を含む塩類を体外へ排出しにくい仕組みになっており、放射性物質の濃度の低下に時間がかかるためです。とはいえ、基準値を超えるものは年々少なくなっています。

水産物は、特性や生息域・漁期・近隣県の調査結果を考慮して、基準の半分以上の値が検出された魚種と主要な品目に関して定期的な検査がされており、その結果によって出荷の制限を行うことが決められています。

このように基準値を超える品目はそれぞれの検査に基づいて出荷制限がかかるため、私たちの食卓に並ばないように考えられています。今回注目した品目以外の食品についても、消費者庁のホームページには、さまざまな取り決めやデータの説明がまとめられていますので参考になります。



食品と放射能Q&A 消費者庁

## 生協では今でも検査をしています

また現在でも生協では、事故が起きた地域の近隣県を主な対象地として放射性物質の検査を行っています。新規商品の検査や抜き打ち検査も実施していますが、2013年1月以降は検出しない結果が続いています。安心してご利用ください。

# 2018年度 第5回 理事会だより(10/10)

## 1 9月期決算について承認しました。

単位:百万円

9月度事業結果	9月実績	予算差	累計実績	予算差
商品の供給高	2,153	-15	12,678	-88
総事業高	2,228	-16	13,106	-92
事業経費	502	-12	2,997	-72
経常剰余金	17	12	72	87
当期剰余金	12	9	50	58

組合員数 240,349名 計画比99.7%(加入719名)  
出資金 42億3,234万円 一人当たり出資金 17,609円

## 2 2018年度首長訪問終了報告がありました。

理事長・組合員理事・支所長(副支所長)の首長訪問終了の報告がありました。第20回通常総代会終了後、県内22行政(19市3町)へ6月28日～9月19日の期間に訪問しました。

## 3 2018年度「ヒバクシャ国際署名運動」の取り組みについて中間報告がありました。

「ヒバクシャ国際署名運動」を今年度も上半期を重点に取り組みました。「OCRを活用した署名」の呼びかけも行き、29,953筆(9月20日時点)の署名が寄せられました。寄せられた署名は全岐阜県生協連に報告し、日生協に集約され、日本原水爆被害者団体協議会を通じて10月の国連会議に届けられました。このヒバクシャ国際署名は2020年まで継続し、国連に送り続けます。

## 4 七宗町と「地域見守りに関する協定」を締結する事が確認されました。

七宗町への首長訪問後、「地域見守りに関する協定」の締結を希望される連絡をいただき、10月1日に協定を締結しました。協定は、七宗町を含めこれまでに27市町村・1団体と締結しており、通報窓口と連携して地域の見守りを行っています。

昨年年末に2人目を出産したので、今年の年末は誕生日会などなど、大忙しになりそうです。身軽になったので大掃除もがんばるぞ! | 関市 さやかさん |

